

市民と議会との語る会実施報告書

日	時	令和5年11月8日(水)19時～
会	場	大虫公民館
出席議員		近藤光広、川崎悟司、桶谷耕一、能勢淳一郎、小玉俊一、安立里美
参加者(市民)		13名
開会挨拶・司会・記録		司会：近藤光広 議会報告：川崎悟司 記録：能勢淳一郎
【1部】 定例会概要報告等 (報告者)川崎悟司議員		Q：なし
【1部】 議員報酬について (報告者)桶谷耕一		Q：政務活動費が資料に記載されていない。全てを表に出して意見を求めるべき。 A：政務活動費は月6万円×12ヶ月＝72万円ある。 使い方も含め全て公表されている。 Q：市議選が過去に無投票となったことはあったのか。 A：実績なし。 Q：越前市に限ってみればなり手不足感はなく、定員は多く感じる。 A：無投票がないのは事実だが、若い人や女性にも議員になってほしい。定数が減れば市民の声を拾い上げることも少なくなる。 Q：他市との比較はあまり必要としないと思う。 A：参考にする。
【2部】 意見交換会 (1班) 進行：川崎悟司 記録：近藤光広		1班 Q：吉野瀬川の桜の木が今年一本倒木。150本全て町で調査した結果、3本が倒木の危険性がある事が判明し、町予算で2本伐採、1本は市予算で伐採した。市外、県外から人が多く来られる観光名所になっているところを上太田町で維持管理していくのは限界がきている。吉野瀬川は県の管理で、県と市にお願いに行ったところ誰が植えたかとの話になり、上太田町の人が植えたのだが、桜並木、川の浚渫工事、ベンチの整備等維持管理を県にも介在して欲しい。 A：危険木は放っておけないので、まず市の担当課に言い、市から県へ要望するというスタンスをとっていきたい。吉野瀬川は県が管理しているが、市の目線でも見てくださいと、かねがね言っている。 Q：県道武生小曾原線の上の方の融雪の水がほとんど出ない。山からくる用水を水路にしており、取水する水路が小さいことが原因だと思う。冬は田んぼをしてないので日野用水を回してもらってもいい。

<p>(2班)</p> <p>進行:小玉俊一 記録:桶谷耕一</p>	<p>A:なかなか川の水では溶けにくく、融雪は地下水でないと溶けにくいと思う。</p> <p>Q:大虫小学校校舎とグラウンドの間の道路、危険なため道路の廃止を。また、学校から公民館への道にバスが迂回する話はどうなったか。</p> <p>A:これからはデマンド交通がバスの代替えとなるのではないか。</p> <p><b>【要望・意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大虫本町の堤防が決壊した時、工事が3年待たされた。今年大虫町も決壊して市から県に上げてもらっているが手付かずの状態である。浚渫工事は高額のため町ではできない。</li> <li>・農業用水、排水が漏れる状態になっている。担当課に相談しても農地・水保全管理支払い交付金で対応してとの事。市で対応して欲しい。</li> <li>・大虫川の浚渫工事、今年度は長い区間をしてもらえが来年以降は困難との事。</li> <li>・上太田から新保町への道路の融雪を要望する。</li> </ul> <p>2班</p> <p>Q:高齢化などで、山際の田から耕作放棄がどんどん増えている。カメムシの被害の対策、担い手不足が課題である。</p> <p>A:抜本的な改革が必要だと思う。農業が儲かるのであれば若者は参入してくる。</p> <p>Q:鳥獣害対策について、被害は田畑だけではなく、住宅団地にも被害が来ている。補助制度の使い道も住宅団地にもしてほしい。</p> <p>A:法律が後手後手にまわっているような印象がある。</p> <p><b>【要望・意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥獣害対策で猪用のワイヤーメッシュを敷設しても、鹿の被害が多い為、全く役に立たない。</li> <li>・鳥獣害対策などの担い手不足、65才以上ではできない作業もある。</li> <li>・ワイヤーメッシュ敷設交付金は、一度県の交付金を取得すると次の認可は取れない。(猪用のワイヤーメッシュの敷設交付金を取得すると鹿用のワイヤーメッシュの認可が取れない)</li> <li>・交付金の認可の仕方がおかしいのではないか。</li> <li>・地区境では、単独の地区で鳥獣害の対策をしても、他の地区が対策をしていなかったら、防げない、地区間を超えた抜本的な対策をしてほしい。</li> <li>・補助金の使い方、補助金採用については、市から県に要望してほしい。</li> </ul> <p>3班</p>
--	--

<p>(3班) 進行: 安立里美 記録: 能勢淳一郎</p>	<p>Q:地区では外国人の親子に対して日本語支援を行っているが、言葉と合わせて学習の支援ができないか模索している。これに対しても行政企業などの支援が欲しい。</p> <p>A:外国人の日本語学習支援をされており、レベルが高くて驚いた。同じように外国人の多い西地区・南地区と連携できるといい。</p> <p><b>【要望・意見】</b> 大虫地区も外国人が多い。そんな中で災害時に不安を持っている。各町内単位でいろいろな対策をしているが行政や企業からのバックアップがあってもいいと思う。</p>
--	--

令和5年12月25日

越前市議会議長 殿

第1班 班長 近藤 光広